

松江市ふるさと奨学生募集

募集要項

松江市教育委員会では、将来松江市への居住を希望している方を対象に、優れた素質と向学心をもちながら、経済的な理由により修学が困難な学生生徒を支援するため、無利子による奨学生貸付事業を行っています。

この奨学生は、学校卒業後に松江市に居住していただければ、申請に基づいて返還を半額免除することができます。

奨学生の対象となる学校区分は、別紙「ふるさと奨学生の概要」の出願資格を確認ください。

募集概要

採用人数：予算の範囲内で決定します 貸与月額：23,000 円～47,000 円

出願方法

受付期間：令和 8 年 1 月 5 日（月）～令和 8 年 2 月 27 日（金）17 時 15 分まで

提出書類：次の書類を 1 部提出【郵送可、当日消印有効】

1. 奨学生願書	様式第 1 号を使用		
2. 世帯状況調書	様式第 2 号を使用		
3. 奨学生推薦調書 <small>令和 8 年度に在学予定の学校種によって 様式 3 か様式 4 のどちらかを使います</small>	<p>「令和 8 年度に 高校・高専・専修学校 在学予定」 ⇒ 様式第 3 号を使用 令和 7 年度現在在学中の学校で作成</p> <p>「令和 8 年度に 大学・短大 在学予定」 ⇒ 様式第 4 号を使用 高校・高専で作成 ※既卒者も出身の高校・高専で作成</p> <p>(注) 必ず本募集要項に添付されている記入例をご参照のうえ、各様式を作成してください。</p>		
4. 在学証明書	令和 8 年 4 月 1 日以降に在学する学校が発行する証明書 ※ 在学証明書の提出締切りは令和 8 年 4 月 30 日（木）です。		
5. 住民票	本人 及び 本人と生計を同じくする親族		
6. 令和 6 年中の収入を証明する書類	【父母等が松江市内に居住】 (令和 7 年 1 月 1 日時点) 添付様式第 5 号の提出のみ	【父母等が松江市外に居住】 (令和 7 年 1 月 1 日時点) お住まいの市区町村で発行した令和 7 年度住民税の所得証明書（令和 6 年中の所得額を証明するもの）を提出 ※同居別居を問わず、生計を同一にする方全員分が対象	

※出願に際し連帯保証人が 2 名必要です。1 名は保護者、もう 1 名は別生計の独立生計を営む成年人の方としてください。また、どちらか 1 名は松江市内に住所を有する方としてください。

結果通知

奨学生選考委員会を開き、5 月上旬頃に出願者全員に採否結果を郵送でお知らせします。

※貸付手続きの際は、誓約書兼借用証書・連帯保証人の印鑑証明書等の提出が必要になります。

お問い合わせ／お申し込み

〒690-8540 松江市末次町 86 松江市教育委員会教育総務課 ☎0852-55-5424

松江市ホームページ https://www.city.matsue.lg.jp/kosodate_kyoiku/kyoikuiinkai/8/6101.html でもご案内しています。

松江市ふるさと奨学金の概要											
出願資格	<p>次の1~5をすべて満たし、かつ、6又は7に該当すること</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校、高等専門学校、大学（短大を含む。以下同じ。）、専修学校（高等課程・専門課程）に進学予定または既に在学する人 2. 学校卒業後松江市内に居住する意思を持つ人 3. 市外の学校に進学予定（在学中）の場合、父母又はこれに代わる人が松江市に居住していること 市内の学校に進学予定（在学中）の場合、本人が松江市内に居住していること 4. 経済的な理由により修学が困難な人 5. 出身学校長又は在校長が推薦する人 6. 高等学校、高等専門学校、専修学校にあっては、人物が良好で、勉学意欲を有する人 7. 大学にあっては、人物及び学業成績が良好な人 										
貸与額	<table border="1"> <tr> <td>高等学校</td><td>月額23,000円</td></tr> <tr> <td>高等専門学校</td><td>月額24,000円</td></tr> <tr> <td>大学（自宅通学）</td><td>月額43,000円</td></tr> <tr> <td>大学（自宅外通学）</td><td>月額47,000円</td></tr> <tr> <td>専修学校</td><td>月額47,000円</td></tr> </table>	高等学校	月額23,000円	高等専門学校	月額24,000円	大学（自宅通学）	月額43,000円	大学（自宅外通学）	月額47,000円	専修学校	月額47,000円
高等学校	月額23,000円										
高等専門学校	月額24,000円										
大学（自宅通学）	月額43,000円										
大学（自宅外通学）	月額47,000円										
専修学校	月額47,000円										
利子	無利子										
貸与期間	令和8年4月から在学する学校を卒業するまでの最短修業年限の最終月まで										
貸与方法	年2回に分けて貸与										
返還期間	<p>貸与が終了した月の翌月から数えて13ヶ月を経過した月から、次に定める期間</p> <p>※ 定める期間より短期で返還（繰上返還）する場合は返還免除の対象外になります。</p> <table border="1"> <tr> <td>高等学校・高等専門学校</td><td>貸与期間の2倍の期間</td></tr> <tr> <td>大学・専修学校</td><td>貸与期間の3倍の期間</td></tr> </table>	高等学校・高等専門学校	貸与期間の2倍の期間	大学・専修学校	貸与期間の3倍の期間						
高等学校・高等専門学校	貸与期間の2倍の期間										
大学・専修学校	貸与期間の3倍の期間										
返還方法	年賦・半年賦・月賦均等から選択										
返還免除	<p>奨学金を返還すべき年度の前年度（4月1日～3月31日の期間）に、松江市に居住し続けていた場合、その返還すべき年度の返還金を半額免除します。</p> <p>ただし、以下の1~4のいずれかに該当する人は返還免除の対象なりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①奨学生として決定を受けた年度において、在学中の学校に進学する前に通っていた学校を卒業後5年以上経過しており、かつ、②奨学生として決定を受ける前年度まで5年以上継続して松江市内に居住していた人 2. 繰上返還を行った人 3. 返還年度の前年度までの市税を滞納している人 4. 返還すべきふるさと奨学金がある場合で、当該ふるさと奨学金を返還していない場合 										
併願併給	「松江市ふるさと奨学金」は、「他の奨学金」と重複して奨学金を受けることができます。ただし、他の奨学金の中には、重複受給を認めない場合もありますので、ご注意ください。										
休止廃止	<p>奨学生が休学したときは、その期間中奨学金の貸与を休止します。</p> <p>また、奨学生が次のいずれかに該当するときは、奨学金の貸与を廃止します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 進級できなかったとき 2. 退学したとき 3. 操行不良等奨学生としてふさわしくないと認められるとき 4. 市外の学校の場合、父母又はこれに代わる人が松江市に居住しなくなったとき 市内の学校の場合、本人が松江市内に居住しなくなったとき 5. 奨学金の貸与を辞退したとき 6. 奨学金を必要としないと認められるとき 										

【貸与・返還の例】大学4年間の貸与、年賦で返還する場合

年度	備考	貸与／返還額		
令和8年度	大学1年	貸与 年額	564,000	貸与総額 2,256,000
令和9年度	大学2年		564,000	
令和10年度	大学3年		564,000	
令和11年度	大学4年		564,000	
令和12年度		～13カ月経過～		
令和13年度	貸与期間の 3倍の期間	返還 年額	188,000	返還総額 2,256,000
令和14年度			188,000	
令和15年度			188,000	
令和16年度			188,000	
令和17年度			188,000	
令和18年度			188,000	
令和19年度			188,000	
令和20年度			188,000	
令和21年度			188,000	
令和22年度			188,000	
令和23年度			188,000	
令和24年度			188,000	

【貸与・返還の例】高校3年間の貸与、年賦で返還する場合

年度	備考	貸与／返還額		
令和8年度	高校1年	貸与 年額	276,000	貸与総額 828,000
令和9年度	高校2年		276,000	
令和10年度	高校3年		276,000	
令和11年度		～13カ月経過～		
令和12年度	貸与期間の 2倍の期間	返還 年額	138,000	返還総額 828,000
令和13年度			138,000	
令和14年度			138,000	
令和15年度			138,000	
令和16年度			138,000	
令和17年度			138,000	

【松江市居住に伴う返還免除の制度について】

返還すべき年度（大学の例では令和13～24年度、高校の例では令和12～17年度）において、毎年4月に免除申請が必要です。

例えば、大学の例では令和12年度（高校の例では令和11年度）に松江市に居住し続けていた場合、令和13年4月（高校の例では令和12年4月）に免除申請をすることで申請年度の返還額が半額となります（大学：188,000円⇒94,000円、高校：138,000円⇒69,000円）。

◆返還免除の対象外になる場合もありますので、詳細条件は「ふるさと奨学金の概要」の返還免除欄でご確認ください。

様式第1号（第2条関係）

奨学生願書

学校卒業後松江市に居住したいと考えていますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として採用されるよう、関係書類を添え申請します。

年　月　日

(あて先) 松江市長

本　人　住　所	
氏　名	㊞
電　話	
連帯保証人　住　所	
勤務先	
氏　名	㊞
電　話	
連帯保証人　住　所	
勤務先	
氏　名	㊞
電　話	

奨学金を必要とする理由をお書きください

松江市への定住に向けた思いをお書きください

【関係書類】

- 1 世帯状況調書
- 2 奨学生推薦調書
- 3 在学証明書
- 4 本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票
- 5 状況等の調査に関する同意書

記入例

様式第1号（第2条関係）

奨学生願書

学校卒業後松江市に居住したいと考えていますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として採用されるよう、関係書類を添え申請します。

提出年月日を記入する。

令和 年 月 日

(あて先) 松江市長

※ 必ず全ての項目を記入すること。

- ・住所は住民票と関係なく現在住んでいる場所の住所を記入する。
- ・連帯保証人のうち1名は保護者、1名は別生計の独立生計を営む成年者とする。
- ・連帯保証人2名のうち1名は市内に住所を有すること。

本人住所

氏名

電話

連帯保証人住所

勤務先

氏名

電話

連帯保証人住所

勤務先

氏名

電話

印

印

印

奨学金を必要とする理由をお書きください

奨学金を必要とする理由を具体的に記入してください。

松江市への定住に向けた思いをお書きください

あなたの思いを自由にお書きください。

【関係書類】

- 1 世帯状況調書
- 2 奨学生推薦調書
- 3 在学証明書
- 4 本人及び本人と生計を同じくする親族の住民票
- 5 所得状況等の調査に関する同意書

様式第2号(第2条関係)

世帯状況調書

フリガナ				申請者 の 在学 状況	国公立 <u>学校名 私立</u>		
申請者氏名					学部・学科名 (年制)		
生年月日	年 月 日	男・女	<input type="checkbox"/> ____年に在学中 (通学方法 <input type="checkbox"/> 自宅・ <input type="checkbox"/> 自宅外) <input type="checkbox"/> ____年____月卒業後、 <input type="checkbox"/> 無職・ <input type="checkbox"/> 就職・ <input type="checkbox"/> 予備校生 <input type="checkbox"/> 貸付けを希望する学校の進学前に通っていた学校等 を卒業後 5年以上経過している				
申請者住所 (住民票上の住所)	① (〒 —————) 電話番号 自宅 () ————— 【 】 の携帯 () ————— ※現住所が住民票上の住所と異なる場合、その住所を記入してください ② (〒 —————)						
連絡先住所 (書類等送付先)	<input type="checkbox"/> 上記①の住所と同じ <input type="checkbox"/> 上記②の住所と同じ (〒 —————) 日中連絡の取れる電話番号 自宅 () ————— 【 】 の携帯 () —————						
世帯の状況	続柄	フリガナ 氏名	生年月日	在学状況 (学生の場合)			
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】	年	自宅 自宅外
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】	年	自宅 自宅外
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】	年	自宅 自宅外
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】	年	自宅 自宅外
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】	年	自宅 自宅外
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】	年	自宅 自宅外
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】	年	自宅 自宅外
特別 事情	ひとり親世帯 または養育者世帯	障がいのある人 のいる世帯	長期療養者 (6か月 以上) のいる世帯	単身赴任世帯	災害を受けた世帯		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (人)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
奨学金貸付けを 希望する学校		<input type="checkbox"/> 現在在学の学校 (入学年月 ____ 年 ____ 月) <input type="checkbox"/> 次の学校に進学予定 国公立 <u>学校名 私立</u> 学部・学科名 (年制) 卒業年度 (貸付終了年度) ____ 年度					
		上記の世帯状況に相違ありません。					
		本 人 年 月 日 保 護 者					

記入例

様式第2号(第2条関係)

世帯状況調査書

フリガナ 申請者氏名	マツエ タロウ 松江 太郎		申請者 の 在学 状況	国公立 学校名 私立 松江高等学校	学部・学科名 普通科 (3年制) <input checked="" type="checkbox"/> 3年に在学中 (通学方法 <input type="checkbox"/> 自宅・ <input type="checkbox"/> 自宅外) <input type="checkbox"/> 年 月 卒業後、 <input type="checkbox"/> 無職・ <input type="checkbox"/> 就職・ <input type="checkbox"/> 予備校生 <input type="checkbox"/> 貸付けを希望する学校の進学前に通っていた学校等を卒業後5年以上経過している
生年月日	平成18年12月12日	男・女			
申請者住所 (住民票上の住所)	① (〒690-8540) 松江市末次町86番地 電話番号 自宅 (0852) 55 - 5555 【本人】の携帯 (090) 1234 - 5678 ※現住所が住民票上の住所と異なる場合、その住所を記入してください ② (〒 - -)				
連絡先住所 (書類等送付先)	<input checked="" type="checkbox"/> 上記①の住所と同じ <input type="checkbox"/> 上記②の住所と同じ (〒 - -) 日中連絡の取れる電話番号 自宅 (- - - - -) 【母】の携帯 (080 - 5678)				
世帯の状況	続柄	フリガナ 氏名	生年月日	在学状況 (学生の年)	
	父	マツエ キヨウタ 松江 教太	明・大・昭・平・令 48年 3月 3日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
	母	マツエ イクミ 松江 育美	明・大・昭・平・令 50年 5月 5日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
	姉	マツエ ショウコ 松江 奨子	明・大・昭・平・令 14年 7月 7日	国公立 私立	小・中・高・高専・ <input checked="" type="checkbox"/> 専修 【校名】 松江大学
	弟	マツエ マナブ 松江 学	明・大・昭・平・令 21年 9月 9日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】 松江中学校
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
				国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
			年 月 日	国公立 私立	小・中・高・高専・大・専修 【校名】
特別事情	ひとり親世帯 または養育者世帯	障がいのある人 のいる世帯	長期療養者 (6か月以上) のいる世帯	単身赴任世帯	災害を受けた世帯
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (人)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
奨学金貸付けを 希望する学校		<input type="checkbox"/> 現在在学の学校 (入学年月 年 月) <input checked="" type="checkbox"/> 次の学校に進学予定 国公立 学校名 私立 末次大学 学部・学科名 法学部法学科 (4年制) 卒業年度 (貸付終了年度) 11 年度			
		上記の家計状況に相違ありません。 令和 8 年 2 月 27 日			
		本人 松江 太郎 保護者 松江 教太			

令和8年度の在学状況について記入

日中連絡の取れる電話番号を記入する。

世帯員に生徒・学生がいる場合は在学状況を記入する。

令和8年度の在学見込みについて記入

○特別事情に係る提出書類について

(1) 令和8年1月1日現在の状況で、特別事情のある世帯に該当する場合は、該当世帯の□に✓をつけてください。

(2) ✓をつけた場合は、必ず証明書類を添付してください。

※ただし、ひとり親世帯又は養育者世帯の場合は、住民票で確認できますので別の証明書類は不要です。

(3) 障がいのある人のいる世帯は人数も記入してください。

項目	提出する証明書類
「障がいのある人のいる世帯」	①身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の写し（人数分）
「長期療養者（6か月以上）のいる世帯」 ※申請時に6か月以上継続して療養中の人又は療養を必要とする人がいる世帯	①令和7年1月から令和7年12月までの治療若しくは療養にかかった経常的費用の領収書の写し又はその費用の証明書（医療給付を受ける金額を除く。）
「単身赴任世帯」 ※主たる家計支持者が、現在単身赴任している世帯	①単身赴任していることが確認できる書類及び別居のため特別に支出している経費がわかるもの（家賃の証明書の写し、光熱水費の領収書の写し等）
「災害を受けた世帯」 ※令和7年1月から令和7年12月までに受けた火災・風水害などの被害が対象	①罹（り）災証明書の写し ②それまでの家屋に居住できない場合の賃貸費等の領収書の写しや、災害により被害のあった家財で、新たに購入を行った場合の領収書の写し（ただし、生活に必要な限度を超えるものは含まない。） ※保険、損害賠償等によって補てんされた場合は除きます。

様式第3号(第2条関係)

(高等学校・高等専門学校・専修学校用)

奨学生推薦調書

奨学生氏名 _____

1 出欠状況

学年	日数	授業日数	出席日数	欠席日数	備考
第1学年					
第2学年					
第3学年					

2 所見

人物評価	
勉学意欲	
その他参考事項	

人物が良好であって、勉学意欲があり、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学生として適当と認め、推薦します。

令和 年 月 日

(あて先) 松江市長

学校長(氏名)

印

- 人物評価及び勉学意欲については、なるべく詳細に記入する。
- その他参考事項は、在学中に取得した資格等について記入する。

記入例

様式第3号(第2条関係)

現在在学する学校で作成

様式第3号は、令和8年度に在学予定の学校が「高等学校・高等専門学校(高専)・専修学校」の時に使用します。

(高等学校・高等専門学校・専修学校用)

獎 學 生 推 薦 調 書

獎学生氏名

1 出欠状況

学年	日数	授業日数	出席日数	欠席日数	備考
第1学年		授業日数＝出席日数＋欠席日数となるように記入する。 授業日数のほか、授業時数での記入も可とする。			
第2学年					
第3学年		150	140	10	10日中○日は□□による出席停止 1/10現在

欠席日数（時数）のうち、流行性感冒など特に配慮すべきものは、その理由と日数（時数）を記入する。

2 所見

人物が良好であると評定する場合に、**※本様式を中学校で作成する場合**として適切と認め、推薦します。

令和7年度現在の在学中で作成する。

例：中学3年生（進学予定者）⇒在学中学校で作成。

高校1年生（進級予定者）⇒在学高校で作成。

令和 年 月 日

(あて先) 松江市長

學校長(氏名)

印

- 人物評価及び勉学意欲については、なるべく詳細に記入する。
 - その他参考事項は、在学中に取得した資格等について記入する。

(注意)

- 1 高等学校成績は各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
 - 2 卒業見込みの者の評定は記入日時点までのものとする。
 - 3 学校指定書式の添付に代えて記入を省略して提出してもよい。ただし、その場合も2枚目の最後欄の日付、高等学校長氏名を記入し、職印を押印すること。

(大学用) 2枚目

特別活動の記録	第1学年	第2学年	第3学年
	ホームルーム・生徒会活動 (所見)	ホームルーム・生徒会活動 (所見)	ホームルーム・生徒会活動 (所見)
指導上参考となる諸事項	第1学年 (学習所見) (行動の記録) (趣味・特技・取得資格等) (部活動ボランティア活動等) (進路等)	第2学年 (学習所見) (行動の記録) (趣味・特技・取得資格等) (部活動ボランティア活動等) (進路等)	第3学年 (学習所見) (行動の記録) (趣味・特技・取得資格等) (部活動ボランティア活動等) (進路等)
	上記の者は、人物、学業ともに優良であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学生として適當と認め、推薦します。		
	年　　月　　日		
	(あて先)松江市長		
	高等学校長(氏名)		職印

記入例

出身学校（高校・高専）で作成

様式第4号(第2条関係)

卒業・卒業見込みのいずれかに○

) 1枚目

奨学生推薦調書																
校成績(令和8年3月卒業・卒業見込み)																
		1学年			第2学年				第3学年							
教科	評定	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
国語			2					2				1	1			
地理歴史								1	1					1		
公民			1					1						1		
数学	1	1						2						2		
理科			1					1						1		
保健体育				1				1						1		
芸術			1					1								
外国語	1	1						2						2		
家庭			1													
情報			1													
専門学科																
評定別科目数	2	9	1				1	10	1			2	8			
高等学校評定平均値	評定	科目数	評定値 5×(5)=(25) 4×(27)=(108) 3×(2)=(6) 2×()=() 1×()=() 合計 A(34) B(139)	$\left. \begin{array}{l} \\ \\ \\ \\ \\ \end{array} \right\}$	$B = \frac{A}{ } =$	評定平均値 4.1	小数点第1位未満四捨五入。									

推薦する者の氏名

推薦する者（出願者）の
氏名を記入する。

(注意)

- 高等学校成績は各教科とも評定別に履修科目数を記入する。
- 卒業見込みの者の評定は記入日時点までのものとする。
- 学校指定書式の添付に代えて記入を省略して提出してもよい。ただし、その場合も2枚目の最後欄の日付、高等学校長氏名を記入し、職印を押印すること。

卒業見込みの者については、2学期終了時点までの評定を記入する。
各教科の成績を5段階で評価し、評定欄に該当の教科数を記入する。

記入例

(大学用) 2枚目

	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
特別活動の記録	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動	ホームルーム・生徒会活動
	(所見)	(所見)	(所見)
指導上参考となる諸事項	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
	(学習所見)	(学習所見)	(学習所見)
	(行動の記録)	(行動の記録)	(行動の記録)
	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)	(趣味・特技・取得資格等)
	(部活動ボランティア活動等)	(部活動ボランティア活動等)	(部活動ボランティア活動等)
	(進路等)	(進路等)	(進路等)

上記の者は、人物、学業ともに優良であって、学資の支弁が困難でありますので、松江市ふるさと奨学金奨学生として適當と認め、推薦します。

年　月　日

(あて先) 松江市長

高等学校または高等専門学校（高専）で作成する。
※ 既卒の方も出身の高校・高専で作成

高等学校長(氏名)

職　印

様式第5号（第2条関係）

所得状況等の調査に関する同意書

令和 年 月 日

(あて先) 松江市長

本人住所

本人氏名

印

電話番号

保護者住所

保護者氏名

印

電話番号

私は、松江市ふるさと奨学金の申請を行うにあたり、松江市で私及び同一世帯の者の所得状況、その他申請内容の確認を行うために必要な調査を行うことに同意します。